



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3847 URL <https://www.pacific-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,611	7.1	89	66.2	83	40.2	56	48.3
2025年3月期第1四半期	2,438	6.6	54	△26.8	59	△22.3	38	△19.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 75百万円(14.7%) 2025年3月期第1四半期 65百万円(6.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	38.31	—
2025年3月期第1四半期	25.84	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,846	6,651	67.5
2025年3月期	9,752	6,683	68.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 6,651百万円 2025年3月期 6,683百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	67.00	—	73.00	140.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,360	0.1	882	1.8	883	△0.8	609	△7.0	411.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	1,480,000株	2025年3月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	476株	2025年3月期	430株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	1,479,547株	2025年3月期1Q	1,479,614株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復傾向にあるものの、アメリカの政策動向や金融資本市場の変動に加え、長引く物価上昇や人手不足の影響等、依然として不透明な状況が継続すると思われまます。

そのような中でも、各企業におけるDX推進の流れは継続し、AI・IoT技術などのICT（情報通信技術）の役割は従来以上に重要性を増し、情報化投資意欲の高まりは継続していくものと考えられます。また日進月歩で新たな技術やサービスが生まれており、その変化へ臨機応変に対応していくことが重要になってきます。

このような状況のもと、当社グループは2024年5月に今後の10年における戦略としてPACIFIC SYSTEMS VISION 2032（長期ビジョン）「One step Forward, One step Beyond.」を策定しました。また、そのPhase1「創出を目指す3年」として26中期経営計画（2024年度～2026年度）を策定し、本中計の基本方針「強みを知り、強化する」「既存技術の展開」「新規技術の獲得」に則り、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、システム販売、システム運用・管理等のセグメントで増加となり、2,611百万円（前年同期比7.1%増）となりました。損益につきましては主に売上高の増加等により、営業利益89百万円（同66.2%増）、経常利益83百万円（同40.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益56百万円（同48.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

（単位：百万円）

		前第1四半期 連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)	前年同期比	
				増減	増減率
機器等販売	売上高	642	636	△6	△1.0%
	セグメント利益	60	62	1	3.3%
	セグメント利益率	9.5%	9.9%	0.4P	—
ソフトウェア開発	売上高	226	221	△5	△2.4%
	セグメント利益	29	22	△7	△24.8%
	セグメント利益率	13.1%	10.1%	△3.0P	—
システム販売	売上高	606	748	141	23.4%
	セグメント利益	53	111	57	107.9%
	セグメント利益率	8.8%	14.9%	6.1P	—
システム運用・管理等	売上高	966	1,009	42	4.4%
	セグメント利益	268	254	△14	△5.2%
	セグメント利益率	27.8%	25.2%	△2.6P	—
調整額（注）1	売上高	△3	△3	0	—
	セグメント利益	△358	△361	△2	—
計（注）2	売上高	2,438	2,611	173	7.1%
	営業利益	54	89	35	66.2%
	営業利益率	2.2%	3.4%	1.2P	—

（注）1 セグメント利益の調整額△361百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①機器等販売

当セグメントは、パソコン、サーバー及び周辺機器とパッケージソフトウェア等の仕入・販売を行っております。

売上高は顧客におけるライセンス等の更新需要が継続している一方で、前期に好調であったPC等機器の反動を受け、636百万円（前年同期比1.0%減）となりました。セグメント利益は、62百万円の利益（同3.3%増）となりました。

②ソフトウェア開発

当セグメントは、製造業・流通業・金融業等幅広くアプリケーションシステムの受託開発業務を行っております。また、主に製造業向けにERPの導入コンサルとシステム開発を行っております。

売上高は前期に受注したERPシステムの導入や基幹業務システムの受託開発が当期に継続して売上に寄与している一方で、受注遅れがあったことから、221百万円（前年同期比2.4%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少に加え、一部で原価の増加が発生し、22百万円の利益（同24.8%減）となりました。

③システム販売

当セグメントは、画像処理システムや生コンクリート業界向けシステムの自社開発システム商品等の販売及びネットワーク構築のインフラサービス等を行っております。

売上高は画像処理システムにおける外観検査装置や、工場ネットワーク構築の新規受注を獲得したこと、また生コンクリート業界向け製品のPAT-ONEが前期から販売が好調に推移していることから、748百万円（前年同期比23.4%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加により、111百万円の利益（同107.9%増）となりました。

④システム運用・管理等

当セグメントは、ユーザシステムの運用・管理サービス、データセンター、保守サービス等を行っております。

売上高はシステム運用支援やデータセンタ業務等の増加により、1,009百万円（前年同期比4.4%増）となりました。セグメント利益は、254百万円の利益（同5.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2025年6月30日)	前年度末比	
			増減額	増減率
流動資産	6,739	6,787	48	0.7%
固定資産	3,012	3,058	45	1.5%
資産合計	9,752	9,846	94	1.0%
流動負債	2,576	2,687	111	4.3%
固定負債	492	507	15	3.2%
負債合計	3,068	3,195	126	4.1%
純資産	6,683	6,651	△32	△0.5%

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は9,846百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加いたしました。流動資産増加の主な要因は受取手形、売掛金及び契約資産が減少したものの、現金及び預金、仕掛品が増加したことによります。固定資産増加の主な要因は不動産敷金、投資有価証券などの投資その他の資産が増加したことによります。

負債合計は3,195百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円増加いたしました。流動負債増加の主な要因

は未払費用、未払消費税等が増加したことによります。固定負債増加の主な要因は長期前受収益などの固定負債その他が増加したことによります。

純資産は6,651百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、株主配当金の支払があったことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表した予想に変更はありません。

当連結会計年度(2026年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高11,360百万円、営業利益882百万円、経常利益883百万円、親会社株主に帰属する当期純利益609百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,783,851	3,239,707
受取手形、売掛金及び契約資産	2,779,171	2,085,991
電子記録債権	169,149	199,992
リース投資資産	438,769	502,964
商品及び製品	54,322	71,268
仕掛品	324,044	489,917
原材料及び貯蔵品	49,892	55,167
その他	141,453	143,598
貸倒引当金	△754	△618
流動資産合計	6,739,902	6,787,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	597,531	588,874
土地	531,977	531,977
その他（純額）	804,801	825,371
有形固定資産合計	1,934,311	1,946,222
無形固定資産	240,717	218,316
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	327,010	330,012
その他	512,310	565,757
貸倒引当金	△1,659	△1,659
投資その他の資産合計	837,661	894,110
固定資産合計	3,012,689	3,058,650
資産合計	9,752,591	9,846,639
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	857,032	835,232
短期借入金	-	50,000
未払費用	413,321	908,815
未払法人税等	148,794	38,199
賞与引当金	587,934	212,123
受注損失引当金	8	-
アフターコスト引当金	29,431	25,575
その他	539,954	617,692
流動負債合計	2,576,476	2,687,639
固定負債		
その他	492,240	507,935
固定負債合計	492,240	507,935
負債合計	3,068,717	3,195,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	5,477,451	5,426,131
自己株式	△1,001	△1,204
株主資本合計	6,494,272	6,442,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,299	167,915
退職給付に係る調整累計額	40,303	40,400
その他の包括利益累計額合計	189,602	208,315
純資産合計	6,683,874	6,651,064
負債純資産合計	9,752,591	9,846,639



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,438,702	2,611,904
売上原価	1,860,814	1,990,010
売上総利益	577,888	621,893
販売費及び一般管理費	523,885	532,132
営業利益	54,002	89,761
営業外収益		
受取利息	26	33
受取配当金	3,365	5,098
受取手数料	423	407
補助金収入	1,950	-
その他	635	667
営業外収益合計	6,401	6,207
営業外費用		
支払利息	366	1,527
支払手数料	200	201
事務所移転費用	-	3,112
その他	92	7,377
営業外費用合計	659	12,219
経常利益	59,744	83,748
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	59,744	83,748
法人税等合計	21,517	27,060
四半期純利益	38,226	56,688
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,226	56,688

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	38,226	56,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,546	18,616
退職給付に係る調整額	991	97
その他の包括利益合計	27,537	18,713
四半期包括利益	65,763	75,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,763	75,401
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	642,955	225,850	604,953	964,943	2,438,702	—	2,438,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	737	1,431	1,562	3,732	△3,732	—
計	642,955	226,587	606,385	966,506	2,442,434	△3,732	2,438,702
セグメント利益	60,984	29,705	53,660	268,550	412,901	△358,899	54,002

(注) 1 セグメント利益の調整額△358,899千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	636,783	221,245	746,374	1,007,499	2,611,904	—	2,611,904
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,938	1,569	3,507	△3,507	—
計	636,783	221,245	748,313	1,009,069	2,615,411	△3,507	2,611,904
セグメント利益	62,973	22,339	111,553	254,465	451,331	△361,570	89,761

(注) 1 セグメント利益の調整額△361,570千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	112,613千円	117,055千円

(重要な後発事象)

(太平洋セメント株式会社による当社株券に対する公開買付けに関する賛同の意見表明について)

当社は、2025年8月8日開催の取締役会において、太平洋セメント株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して本公開買付けへの応募を推奨することを決議いたしました。なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て当社を完全子会社とすることを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです（詳細につきましては、本日付で別途公表いたしました「支配株主である太平洋セメント株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」をご参照ください。）。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題として認識しており、業績に応じて積極的に利益還元を行うことを配当の基本方針としておりましたが、公開買付者によれば、本公開買付けにおける買付け等の価格は、当社が2025年9月30日を基準日とした中間配当及び2026年3月31日を基準日とした期末配当を行わないことを前提として総合的に判断・決定されていることから、本日開催の取締役会において、本公開買付けが成立することを条件に、2026年3月期の中間配当及び期末配当を行わないことを決議いたしました。